

## 2024年7月14日(日) 第二礼拝「福音とは」マルコ1章1節

「神の子イエス・キリストの福音のはじめ。」(マルコ1:1) イエス様は福音です。イエス様は私たちのために十字架で死なれ、葬られ、よみがえられました。そして再び来られます。このイエス様のなされたこと、これからなされること全てが福音です。

第一番目、イエス様は救いの力です。「福音は…信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。」(ローマ1:16) イエス様を信じる者は過去・現在・未来の全ての罪が赦され救われます。それは全能の神の超自然的な力であり、私たちの罪を赦し、癒し、保護する力であります。先日トランプ氏への銃撃事件がありましたが、耳の負傷だけですみ、神様は彼の命を保護し守ってくださいました。神様には彼へのご計画があるからです。自分の中で福音の力を深く理解し確信することで、神様の超自然的な力が働き、私たちの実生活に影響を与え、他の人たちにも福音を伝えることができるようになります。

第二番目、イエス様は創造主です。はじめに神様が天と地を創造されました。この神様は三位一体の神様です。人は神のかたちに造られました。神様は霊です。神のかたちに造られた私たちもまた霊的な存在であり、神様と愛の交わりをする存在として造られました。この神様との親密な交わりを通して、人は人生の目的と方向性を悟ります。逆にそれが無いなら、孤独感や虚しさが増します。ヘミングウェイは1954年『老人と海』を書いてノーベル文学賞を授与されました。彼は世界的な称賛や富や名誉も得ましたが、深い孤独と虚しさの中で自ら命を絶つ最期となりました。彼は無神論者であり、神様との交わりがありませんでした。神様は愛です。その神様から私たちは愛されており、その愛を受け入れることが交わりです。神様は土の器である私たちの内に聖霊(神様の息:ルーク)を入れてくださり、神様との愛の交わりができるようにしてくださいました。そして神様は、「生めよ、ふえよ。地を満たせ。地を従えよ。海の魚、空の鳥、地をはうすべての生き物を支配せよ。(創世記1:28)」と言われ、人を祝福してくださったのです。神様のことばはいのちの御言葉です。これを信じて聖霊様と共に生きる時に、私たちはいのちを豊かにたもつ者となるのです。

第三番目、人間の堕落と救いです。神様は人に祝福(いのちの実)を与えてくださいました。それは、人がいのちを得、豊かになるためです。しかし、悪魔は盗人であり嘘つきです。人はサタンの誘惑にあってサタンの言葉に騙され、人の霊は死んだ状態となり、神様のいのちの言葉が人のうちに入らなくなりました。そして、人は肉体が死ぬと永遠の死、火の池に投げ込まれる運命となりました(第二の死)。この人間を救うためにイエス様は来られました。一人(アダム)の不従順によって死が入り支配しましたが、一人(イエス様)の従順によって人は恵みと義の賜物を豊かに受ける者とされ、いのちの支配に入ります。イエス様は私たちの古い罪の性質を十字架で処分してくださり、共に住んでくださいます。イエス様が義であり、いのちであり、よみがえりです。このお方を自分の救い主として信じるなら、私たちの罪は赦され、義と認められ、神の子とされ、救われるのです。アーメン!